

# 盛岡市動物公園 ZOOMO

## 令和5年度 昆虫採集クラブ活動記録

### 第3回例会の内容

2023年7月22日(土) 晴 30℃

今回の例会は「ホタル・ショウカイボンの話」でした。

ホタルの仲間<sup>なかま</sup>の分類<sup>ぶんるい</sup>や特徴<sup>とくちょう</sup>と見分け方<sup>みわけかた</sup>、生息環境<sup>せいそくかんきょう</sup>についてお話し<sup>はな</sup>しました。

採集コースは、NATURE LOOPからIWAYAMA LAB、キリン下からゲンジボタルやヘイケボタルの生息地<sup>ちようせいけ</sup>の調整池<sup>わんぱく</sup>、WANPAKU FIELDでした。梅雨<sup>つゆ</sup>が明<sup>あ</sup>けて気温<sup>きおん</sup>が上<sup>あ</sup>がり、途中<sup>とちゆう</sup>で体調<sup>たいちゆう</sup>が悪<sup>わる</sup>くなった方がいたので、次回からは移動距離<sup>いどうきょり</sup>に気<sup>き</sup>をつけたいと思います。

NATURE LOOPからIWAYAMA LABでは、セミの発生<sup>はっせい</sup>がピーク<sup>むか</sup>を迎えニイニイゼミやヒグラシ、ツクツクボウシ、エゾゼミかコエゾゼミ、アブラゼミの成虫<sup>せいちゆう</sup>がいる中<sup>なか</sup>でヒグラシが<sup>おお</sup>多く捕<sup>と</sup>れていました。



ヒグラシ



ヒグラシ



オオシオカラトンボ (メス)



オオシオカラトンボ (未成熟メス)

IWAYAMA LAB は今年の採集コースで初めて行きましたが、立ち枯れた木にはルリボシカミキリが何匹もついていて今年の採集の核となるポイントになりそうな予感がしました。

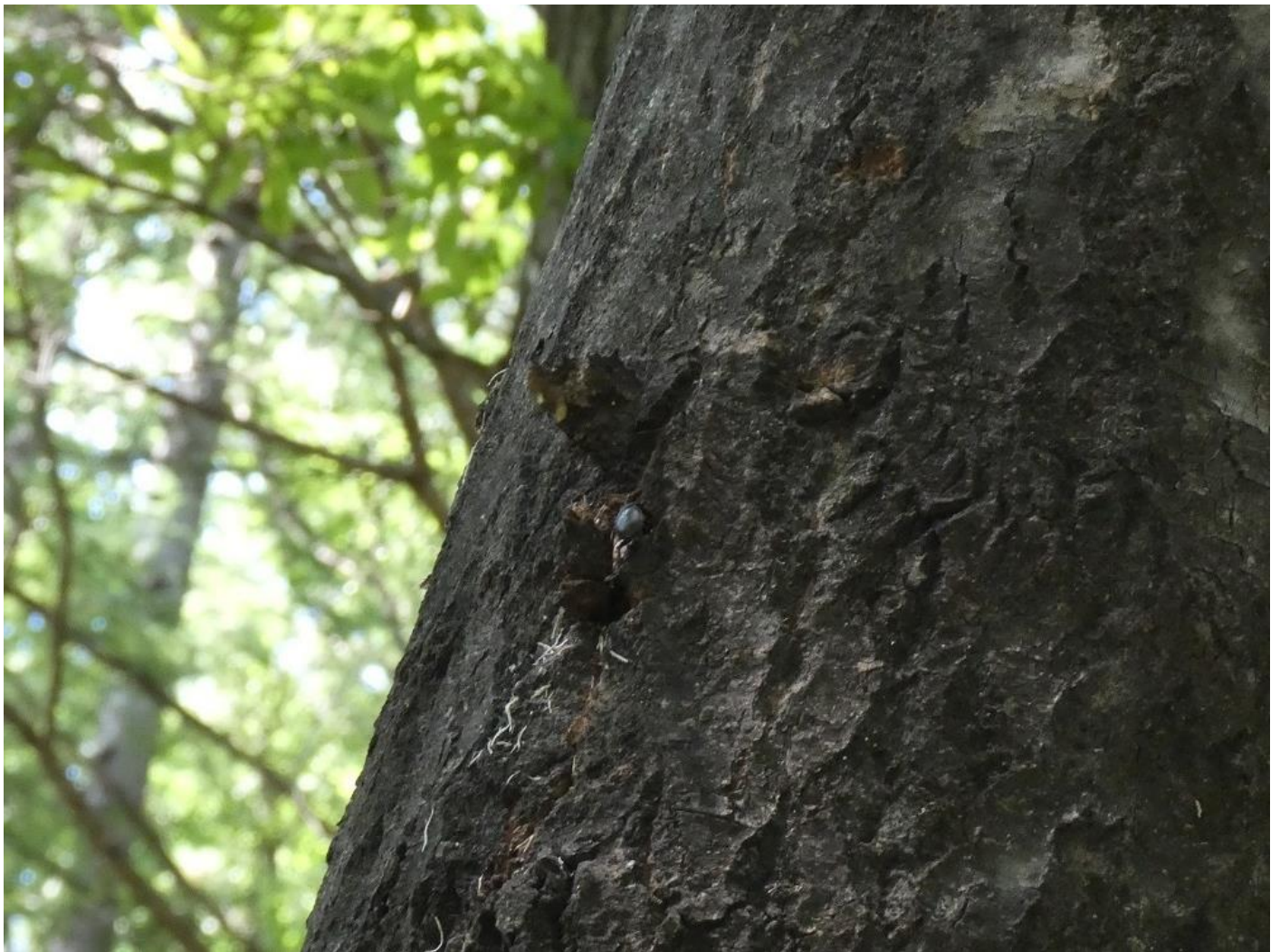


ルリボシカミキリ



ルリボシカミキリ

また、樹液が出ている木もあり、スジクワガタが来ていました。



IWAYAMA LAB の樹液が出ている木

※樹液が出るきっかけは、カミキリムシが産卵のために木を齧ったり、木の中から昆虫が出てきた跡などで木の表面に傷がついたりすることがきっかけになります。樹液は木が傷ついたときに出るものなので、木の傷が治ると樹液は出なくなります。



スジクワガタ（オス）



甲虫の一種

調整池では、ヤナギの木の高い場所の樹液にノコギリクワガタが数匹ついていて、何とか網の柄を伸ばして1ペアが捕れたのでじゃんけん大会を行いました。また、オニヤンマも発生ピークを迎え、各所で飛んでいましたが比較的高い所を飛んでいる個体が多く捕まえるのに苦労している様子でした。



ノコギリクワガタ 1 ペア

WANPAKU FIELD までの間<sup>あいだ</sup>で多くのカミキリが捕れていて、最後<sup>さいご</sup>に大型<sup>おおがた</sup>のセンノキカミキリも捕れていました。

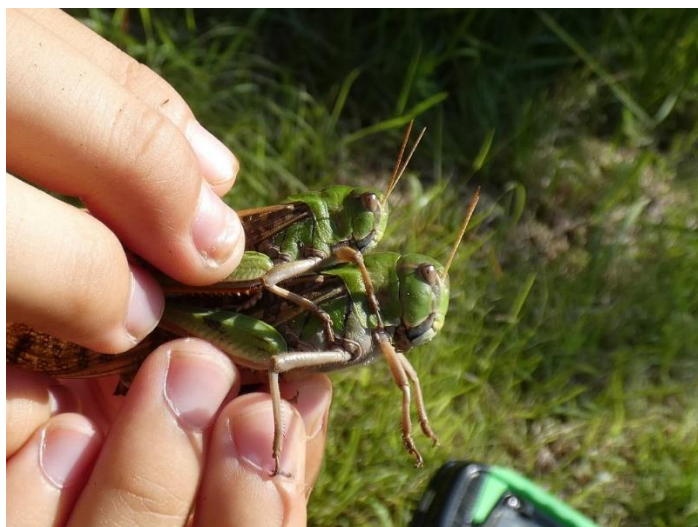


センノキカミキリ



セミスジコブヒゲカミキリ

遊具<sup>ゆうぐ</sup>の周り<sup>まわ</sup>の草地<sup>そうち</sup>ではトノサマバッタが多く捕れていて、オスがメインでしたが交尾中<sup>こうびちゅう</sup>の個体も出てきていたのでそろそろ発生<sup>はっせい</sup>のピークとなるでしょう。もともとこの場所<sup>このばしょ</sup>でよく見られていたクルマバッタモドキも出て来ていたので少し安心<sup>あんしん</sup>しました。



トノサマバッタ交尾中



トノサマバッタ



トノサマバッタ



クルマバッタモドキ (幼虫)



クルマバッタモドキ



クルマバッタモドキ

その他の昆虫たち



イナゴモドキ



ハネナガフキバッタ



バッタの一種



マダラカマドウマ

その他の昆虫たち



アオイトトンボの一種



オナガサナエ



シオカラトンボの一種 (未成熟)



ニイニイゼミ (幼虫)



ツクツクボウシ



ハスオビヒゲナガカミキリ

その他の昆虫たち



アカハナカミキリ



ウスイロトラカミキリ



セミスジコブヒゲカミキリ



エゴツルクビオトシブミ?



オオゾウムシ



コメツキの一種

その他の昆虫たち



甲虫の一種



オオニジュウヤボシテントウ



オオオバポタル



コアシナガバチ



オオイシアブ



アメリカシロヒトリ